

## II. 一般社団法人日本工作機械工業会の活動

### 1. 概 要

#### (1) 定時総会

2017年5月31日(水)に東京都千代田区のホテルニューオータニで、一般社団法人として第6回定時総会を開催し、会員97社中95社(うち書面または代理人による議決権の行使35社)が出席した。同総会では、花木会長が議長となり、2016年度事業報告、同年度収支決算、2017年度事業計画案、同年度会費負担案、同年度収支予算案、定款変更、役員選任について審議を行い、原案通り決議した。

総会終了後、同所において、斎藤克史氏(野村證券グローバルリサーチ本部エクイティ・リサーチ部長、アジア・インダストリアルズ・リサーチヘッド)による「アナリストから見た世界の工作機械産業」と題する講演会を開催した。

#### (2) 理事会

当会の事業執行機関である理事会は、理事会運営の原則に基づき、5月に決算理事会、7月、9月、11月に定例理事会、1月に臨時理事会、3月に予算理事会を開催し、事業報告案及び収支予算案、決算報告を始め、平成30年度税制改正要望、新規入会等を審議した。更に、定時総会当日には総会に引き続いて臨時理事会を開催し、新定款第13条第3項に基づき、会長、副会長、専務理事及び常務理事の選定を行ったほか、委員会構成について審議した。

#### (3) 委員会・研究会

各事業の遂行については、総合企画、技術、経営、市場調査、国際、環境安全、見本市、輸出管理の8常設委員会及び人材確保・周知研究会が中心となり、それぞれ所管する事業を以下の通り実施した。

##### ① 総合企画委員会

新規入会について審議し、その結果を理事会に上程したほか、2017年度会員懇談会を広島市で開催した。

##### ② 技術委員会

研究開発部会、標準化部会が中心となり、「Additive Manufacturing技術動向調査」、「知的財産に関する調査研究」、「第18回工作機械国際技術者会議(18th IMEC)の企画・立案」等、工作機械の技術振興に関する調査研究を幅広く実施した。さらに、「工作機械産業ビジョン2020」のフォローアップとして、「加工システム研究開発機構」においては、①「新構造材料適用省エネ型工作機械の研究開発」、②「工作精度試験方法通則の国際標準化」、

③若手研究者・技術者の海外派遣・技術交流プログラム「国際交流イニシアティブ」事業を実施した。

### ③ 経営委員会

経営調査部会、税制部会、労務研究部会が中心となり、工作機械工業の各種経営指標について分析した「経営状況調査」・「収益状況集計」を作成して公表した。また、平成30年度税制改正要望について取りまとめたほか、労務環境に関する調査分析を実施した。

### ④ 市場調査委員会

工作機械の需要動向に関する調査分析の他、工作機械ユーザー等を対象としたメンテナンス講習会を名古屋、大阪の2地域で開催した。また、設備投資促進に資する政府の予算措置に関する要望を取りまとめたほか、「工作機械産業の適正取引の推進と生産性・付加価値に向けた自主行動計画」について立案し、公表した。

### ⑤ 国際委員会

アジアにおける工作機械の需要産業及び市場動向をテーマとして、同市場に積極的に展開している工作機械関連企業を対象とした市況ヒヤリング及び工場見学、また、この分野に精通している専門家による講演等を通じて、日本製工作機械への潜在的ニーズについて把握・分析した。

### ⑥ 環境安全委員会

「工作機械産業の環境自主行動計画」の目的達成に向け、環境活動マニュアルのデータベース化、環境活動状況診断書の発行など、会員の環境活動を支援した。また、省エネ推進に加え、労働安全衛生の取り組みとして、「働き方改革」をテーマとした講演会を開催するなど、会員企業の環境・安全活動の啓蒙に努めた。

### ⑦ 見本市委員会

JIMTOF・Tokyo 2018開催に向けて、開催基本方針の策定、出展申込要領の決定、出展申込受付、小間数調整等の諸準備を行った。また、従前の広報部会を改めた企画部会を設置し、企画展示や講演会等の併催行事につき検討した。

### ⑧ 輸出管理委員会

2017年6月1日に行われた輸出管理上の評価基準の一部変更【両方向位置決め（PA）から一方向位置決め（UPR）への変更】に伴い、技術委員会と連携して作成したUPR精度測定日工会ガイドラインについて会員企業に周知を図った。また、「工作機械の輸出管理講習会」を金沢、名古屋、大阪、岡山、東京の5都市で開催し、貨物及び技術の輸出管理制度の仕組みや位置決め精度測定上の注意点について説明し、輸出管理に関する業界内の理解向上に努めた。

### ⑨ 人材確保・周知研究会

次世代の工作機械産業を担う若く優秀な人材の確保・育成を目的とする人材確保・周知

研究会では、学生を対象とした工作機械トップセミナーや、企業の新人社員を対象とした工作機械基礎講座の企画・立案を行い、所要の事業を積極的に実施し、学生に対する業界PRや若手エンジニアの育成に努めた。

#### (4) その他

##### ① 委託事業

- (イ) JIS原案作成事業（(一財)日本規格協会）
- (ロ) 工作精度試験方法通則国際標準化事業（(株)三菱総合研究所）
- (ハ) 国際幹事等国際会議派遣事業（(株)三菱総合研究所）

##### ② 補助事業

- (イ) 新構造材料適用省エネ型工作機械研究開発事業（国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構）
- (ロ) 産学連携国際交流イニシアティブ事業の実施（公財）JKA
- (ハ) 工作機械検定制度創設のための調査研究（公財）JKA

##### ③ 国際交流

- (イ) CIMT 2017（2017年4月・中国 北京市）
- (ロ) METALLOBRABOTKA 2017（2017年5月・ロシア モスクワ市）
- (ハ) INNOPROM 2017（2017年7月・ロシア エカテリンブルグ市）
- (ニ) EMO Hannover 2017（2017年9月・ドイツ ハノーバー市）
- (ホ) METALEX 2017（2017年11月・タイ バンコク市）
- (ヘ) IMTEX 2018 Forming（2018年1月・インド バンガロール市）

##### ④ 広報活動

日工会受注額を公表する月例記者発表を実施した。また、下記出版物を発行したほか、メールマガジンの配信等、広報活動に努めた。

- (イ) 機関誌「工作機械」
- (ロ) マシンツールワールド
- (ハ) 日本の工作機械産業（和・英）
- (ニ) 工作機械統計要覧
- (ホ) その他出版物

##### ⑤ 会員相互の親睦強化

主として下記行事を開催した。

- (イ) 第58回野球大会（2017年8月3日(木)、4日(金)・東京）
- (ロ) 2018年新年賀詞交歓会（2018年1月11日(木)・東京）
- (ハ) 第12回会員交流会（2018年3月2日(金)・名古屋市）

(二) 日工会ゴルフ会 (2017年6月1日(木)・静岡県/ファイブハンドレッドクラブ、7月14日(金)・滋賀県/琵琶湖カントリー倶楽部、9月30日(土)・愛知県/中京ゴルフ倶楽部、1月12日(金)・静岡県/ファイブハンドレッドクラブ、3月24日(土)・滋賀県/琵琶湖カントリー倶楽部)